

ロシアによるウクライナへの侵略を非難し、ロシア軍の即時撤退を求める決議

ロシアは2月24日にウクライナへの軍事侵攻を開始した。

ロシア軍による攻撃は、軍事施設のみならず、ウクライナの電力を大きく賄う原子力発電所や軍事としては無関係な民間施設にまで及び、毎日子どもを含む多くの死傷者を出している。

ロシアのこれらによる行為は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に反する。さらに、ロシアは核兵器の使用も示唆しており、このような力による一方的な現状変更は決して許容されるものではない。

豊後大野市では、「非核平和都市」を宣言しており、恒久的な平和を目指している。

よって、豊後大野市議会は、国際社会の平和と秩序を揺るがすロシアのウクライナ侵略を強く非難し、ロシア軍の即時攻撃停止とウクライナからの撤退を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月17日

豊後大野市議会